はじめてのみなさんへ

展示室 1
歴史展示
①

江戸時代まで

○ ハンセン病は、およそ1400年も前から日本にあった病気です。

○ むかしの人たちはハンセン病になる原因を、神様を信じなかったせいだとか、人の不幸を引き受ける役目だからとか、親から子へと受け継がれる病気だから、などと考えていました。

○ 今は、こうした考えは間違いだとわかっています。でもむかしの人たちはみんなそのように信じていたので、患者さんを嫌って近寄らないようにしていました。

○ だから、患者さんだけを集める場所（療養所）を作って無理やり住まわせること（強制隔離）になっても、みんな「それが当たり前」と思いこんで、「それはひどい」とは考えませんでした。

○ 長い間つづいてきたハンセン病を嫌う気持ちは、近代以後も人びとの心に残ってしまいました。

©国立ハンセン病資料館